

平成14年2月12日

兵庫県知事 井戸 敏三 様

公共事業等審査会  
会長 朝日 稔

### 公共事業等審査会の審査結果について

兵庫県が実施する投資事業(公共事業)の評価にあたり、今回審査を依頼された新規事業1件について、担当部局から説明を受け、事業の必要性等について慎重に審査を行い、このたび審査会としての意見を取りまとめたので提出する。今後、事業の実施にあたっては、本審査会の意見を十分に尊重されて、推進に努められるように期待する。

### 記

(鉄道事業:阪神西大阪線延伸事業に伴う既設線改良事業)

阪神電鉄と近鉄とを直結する広域ネットワークを形成する本事業は、姫路・神戸方面から難波・奈良方面への時間短縮・料金軽減を図るとともに、乗り換えの必要性がなくなり、通学・通勤等の利便性が向上する。特に、法隆寺や大和路の歴史・文化遺産を持つ奈良と国際的な文化都市である神戸の地域連携が強まることは非常に有意義である。

また、公共交通の利便性が向上することで、自動車交通から公共交通への転換による環境負荷の軽減、高齢化社会への対応、大阪湾ベイエリアにおける都市再生など副次的効果も大きく、阪神西大阪線延伸事業に伴う既設線改良事業に着手することは妥当と判断した。

今後は、事業を進める上で、下記の点に留意して事業を進めてもらいたい。

高齢者が利用しやすい施設整備に向け、阪神三宮駅や阪神尼崎駅などのバリアフリー化を阪神電鉄に対し働きかけてほしい。

短期間で事業を早期に整備できるよう努力してもらいたい。

自動車交通から公共交通への転換を促進する新たな施策にも併せて取り組んでもらいたい。

大阪湾ベイエリアを活性化する施策も併せて検討してもらいたい。